

2019年度 降下ばいじん調査結果

1.測定方法

神戸市では1955年代からデポジットゲージ法で降下ばいじんを測定している。

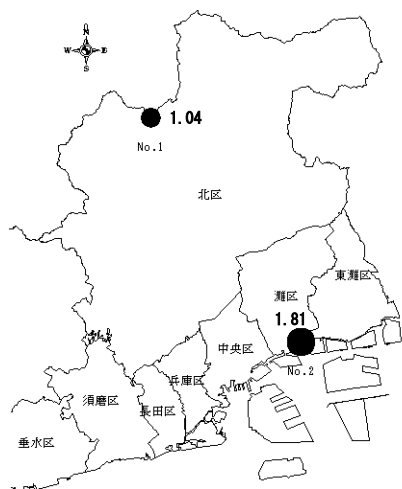
デポジットゲージは屋外に固定し、雨水やその他の大気からの降下物を受ける装置であり、ロート部分と採取容器から構成される。ロートの口径は工場及び都市における環境調査に統一的使用するため、 $300\pm 5\text{mm}$ に規定されている。採取容器に溜まった雨水を蒸留分離することにより、降下物質の重量を測定する。

2.測定結果

2019年度は、灘浜、淡河の2地点において測定を行った（図1参照）。

市街地（灘浜）の降下ばいじん総量の年平均値は $1.81 \text{ ton/km}^2/30 \text{ 日}$ であった。

また、郊外（淡河）における年平均値は $1.04 \text{ ton/km}^2/30 \text{ 日}$ であった。



No.1 淡河[天王谷学園]北区淡河町神影（市街化調整区域）
No.2 灘浜[灘児童館]灘区新在家南町5（準工業地域）

図1 測定地点と2019年度測定結果
(降下ばいじん総量・年平均値)

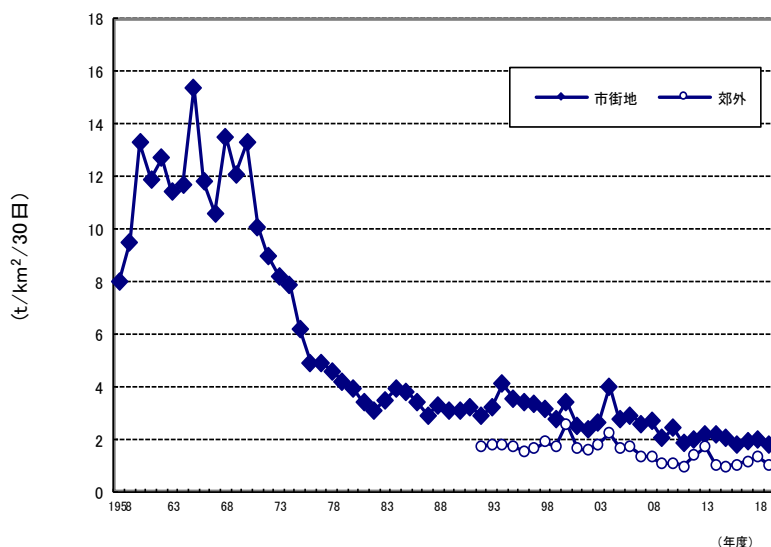


図2 降下ばいじん総量の経年変化

注) 継続測定地点
 1958～1967年度 : 3地点(東灘・中央・長田)
 1968～1985年度 : 4地点(東灘・灘・中央・長田)
 1986～1991年度 : 5地点(東灘・灘・中央・港島・長田)
 1992～1994年度 : 3地点(東灘・長田・淡河)
 1995～1999年度 : 4地点(東灘・長田・淡河・市役所)
 2000～2003年度 : 3地点(東灘・長田・淡河)
 2004年度～ : 2地点(灘浜・淡河)

表1 降下ばいじん総量の経年変化

地域	No.	測定点	年平均値 (ton/km ² /30日)					
			2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
郊外	1	淡河	1.02	0.98	1.02	1.17	1.32	1.04
市街地	2	灘浜	2.16	2.06	1.77	1.90	1.96	1.81